

落とし物管理システム「KadaMikke/カダミック」

米村 拓海¹ 富田 邦弘¹ 油谷 知岐¹ 浅木森 浩樹^{1,3}
末廣紀史¹ 成重伸昭² 山田 哲^{1,3} 米谷 雄介¹ 八重樫 理人¹

1香川大学 情報化推進統合拠点DX推進研究センター 2香川大学 教育・学生支援部 3株式会社リコー

1. はじめに

- 香川大学の落とし物は届けられた部局や部署でガラスショーケースに展示する形で管理されていた
- 学生からは「保管場所が分からない」、「確認のために大学に行かなくてはならない」との意見が寄せられていた
- 職員は問い合わせが多く、他部局への落とし物の確認に時間がかかっており、業務負担が問題視されていた

2. 落とし物管理システム「KadaMikke/カダミック」

- 職員がアプリに必要事項を入力し、落とし物を登録する
- 学生はサイトを閲覧し、登録された落とし物の中から自分の落とし物を探す
- 見つからなかった場合、学生は通知を希望するカテゴリを登録する
- 落とし物の情報、通知を希望するカテゴリの情報は、すべてデータベースに格納される
- 通知を希望するカテゴリの落とし物が届いた際に、学生にメールで通知が届く



図 香川大学の落とし物管理

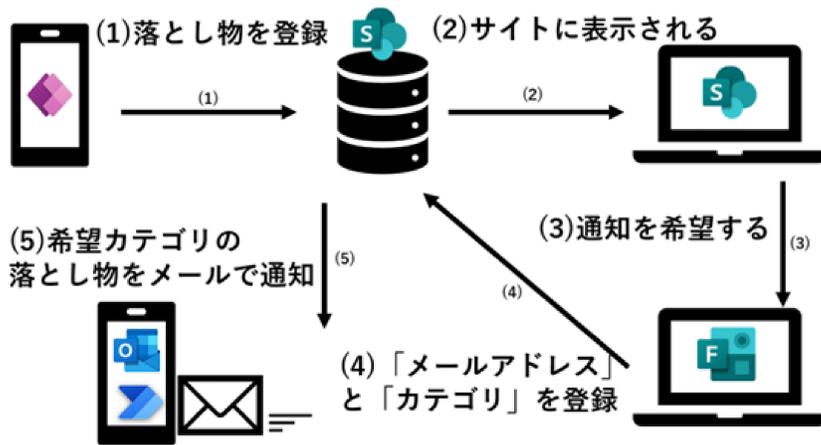


図 カダミックの概要



図 カダミックの落とし物閲覧画面



図 カダミックの落とし物登録画面

3. 実証実験（学生生活支援課）

- 必要な機能から優先的に開発する仮説検証型アジャイル開発でシステムを開発した
- 職員は他部局への落とし物を確認する業務が無くなり、学生はいつでもどこでも落とし物を探せるようになった
- 自分が探している落とし物が追加登録された可能性を通知する通知機能を追加実装した
- 落とし物に関する情報を可視化する落とし物データ可視化機能を追加実装した
- 今までデータ化されていなかった落とし物に関する情報を取得できるようになった



図 カダミックの落とし物データ可視化画面



落とし物管理システム「KadaMikke/カダミック」のQRコード (ソリューションカタログ)

4. まとめ

- 学生生活支援課で実施された実証実験の結果を踏まえ、全学展開にむけたシステム改修を実施した
- 香川大学における実運用による有効性を踏まえ、他の大学でも実際に運用が開始されている
- 現在、登録された落とし物の画像から落とし物を検知する物体検知機能を開発し、試験運用をおこなっている